

岩崎恭子CUP 2026
第40回静岡招待スプリント選手権水泳競技大会 二次要項

【エントリー確認】

エントリーはWeb上で確認すること。確認方法は別紙資料を参照すること。

訂正の提出期限 令和8年9月15日（火）12:00 必着

1. 競技

- (1) 本競技会は、2026年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技はタイムテーブル通りに行い、10レーンで行う。
- (3) 予選は男女別で年齢に関係なく、泳法が同じであれば同時に競技を行う。
- (4) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチする。
- (5) 泳ぎ終わった選手は折返監察員の指示により、0～4レーンの選手は0レーン側へ、5～9レーンの選手は9レーン側から速やかに退水する。
- (6) 5mフラッグの脱着は行う。
- (7) 招集は競技開始20分前からウッドデッキにて行う。招集の際に水着の確認を行う。
- (8) プログラム訂正用紙・棄権届・テーピング許可願・AQUA(FINA)マーク剥離による確認票等の用紙配布・提出はリゾリユーションデスクとする。但し、AQUA(FINA)マーク剥離による確認票の提出は毎レースごと招集所とする。
- (9) 競技を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、競技開始30分前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。
- (10) 各種目の決勝スタートリストは、1・2階掲示板に張り出す。
- (11) 決勝競技を棄権する場合は、その該当種目の競技終了後1時間以内に、棄権届をリゾリユーションデスクに届け出ること。
- (12) 本競技会は、世界水泳連盟(AQUA・FINA)の公認した水着を着用すること。規定に外れる水着を着用して泳いだ場合の記録は、本競技会において参考記録扱いとなり、全国大会の標準突破記録として認められず、ランキングにも反映されない。
- (13) 予選競技は選手紹介を行わない。競技中に次競技の紹介をする。但し、決勝競技は選手紹介を行う。
- (14) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行うこと。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。

2. 表彰

- (1) 参加者全員に記録証を授与する。
- (2) 各種目の選手権獲得者にトロフィー、2位・3位に楯、1位から8位までに賞状を授与する。
- (3) 各種別の決勝競技において1位から3位まで表彰を行う。
- (4) 4位から8位までに入賞した選手のチーム関係者は、賞典室で賞状を受け取ること。
- (5) A決勝に出場した小学生・中学生には、記念品の贈呈があるので、招集員の指示に従うこと。

3. 全体スケジュール

	10/4（日）	
選手・引率者入場	7：15	1 階ホール
団体受付	7：15	1 階ホール
保護者入場	選手入場後	1 階ホール
ウォームアップ	7：15～8：40	メイン・ダイビングプール
スタート練習	8：10～8：40	
主任者会議	8：00	審判長室
全体会議	8：15	会議室⑮・⑯
各パート打合せ	全体会終了後	
棄権届提出	8：30	リゾリューションデスク
撮影許可証・プログラム販売	8：30	1 階ホール
賛助会員受付	8：30	1 階ホール
予選競技開始時間	9：00	
予選競技終了時間(予定)	12：26	
招待選手歓迎セレモニー開始時間(予定)	13：00	
決勝競技開始時間(予定)	13：30	
決勝競技終了時間(予定)	16：30	
退館時間	17：00	

4. プールの使用について

(1) メインプール

- ・プールの水深は2mに設定する。
- ・ウォーミングアップのレーンは、0～4レーンを男子専用、5～9レーンを女子専用とする。
- ・ウォーミングアップ時のダッシュレーンは、0・9レーンの電光掲示板側からの一方通行とする。
- ・スタート練習は、0～3、6～9レーンとする。バックストロークレッジを設置する。
- ・スイミングキャップを必ず着用する。
- ・パドル・フィン・チューブ類の使用は禁止とする。
- ・予選競技終了後、招待選手歓迎セレモニー開始までの間、招待選手及び決勝競技出場選手のメインプールでのアップを認める。

(2) サブプール（ダイビングプール）

- ・プールの水深は1.4mに設定する。
- ・男女レーンを分けて設定し、招待選手専用レーンを設定する。
- ・ダッシュレーンの設定は行わない。
- ・スイミングキャップを必ず着用し、飛込みは禁止とする。
- ・パドル・フィン・チューブ類の使用は禁止とする。
- ・招待選手歓迎セレモニー開催中の使用は禁止とする。

5. 水泳場の使用

- (1) 選手・引率者・保護者の水泳場への入場は1階とする。
- (2) 保護者の入場は、選手・引率者の入場完了後とする。
- (3) 通路及び階段にて、立ち止まったりの観覧は禁止とする。
- (4) スタンド最前列の手すりには寄り掛からないこと。
- (5) 控え場所は、主催者で決定し、公式ホームページに掲載する。
- (6) 天候等の状況により、開場時間及び入場方法を変更する場合がある。
- (7) 更衣室は着替えのみ行い、ロッカーの使用は禁止する。選手の控え場所にしたり、荷物を置いたり、食事をする事は出来ない。
- (8) 荷物は全てバッグに入れて持ち歩き、レース時は脱衣カゴ、若しくはプールサイドに並べられた荷物置き用フロアの上に整頓して置くこと。
- (9) 荷物の取り違えがおきないように、氏名を記入しておくこと。
- (10) プールサイド、更衣室での飲食は禁止する。
- (11) プールサイドは土足厳禁とする。屋内用シューズ・サンダル等の使用は許可する。
- (12) 観覧席への毛布・シート等の持ち込みは一切認めない。
- (13) 観覧席・ホワイエ・ウッドデッキで出たゴミは、各団体に責任を決め、必ず持ち帰ること。
- (14) チーム関係者・保護者は、プール西側駐車場・茶畑側北駐車場・旧環境クリーンセンター駐車場を利用すること。
- (15) 喫煙は富士水泳場の指定場所に従うこと。

6. 注意事項・その他

- (1) チーム関係者は、1階ロビーにて事前注文のプログラム・撮影許可証と記録証を受け取ること。
- (2) スマートフォン、タブレット、ビデオカメラ等の充電の為に会場内のコンセント利用は禁止とする。
- (3) プログラムは、1階ロビーにて販売（数量限定）する。
- (4) 撮影許可証は、1階ロビーにて団体ごと申請を行い、1日1枚200円で販売する。撮影許可証は見えるところに貼って撮影をすること。カメラ・ビデオ撮影許可申請書は、公式ホームページよりダウンロードして利用する。カメラのフラッシュ撮影は禁止する。
- (5) プログラムに選手の個人名・所属が掲載される。3位までに入賞した選手は新聞紙上に個人名・所属が記載される。以上のことを承諾すること。
- (6) 熱中症には各自十分注意し、体調不良者は大会の出場を見合わせる事。
- (7) 貴重品については、団体・個人の責任において管理すること。
- (8) SNS等の撮影・投稿の際は、周囲の方の顔や個人情報映り込まないように配慮すること。
- (9) 「競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程」を遵守すること。
- (10) 本競技会のレースは、当日のみ「YouTube」にてライブ配信する。閲覧を希望する場合は、別紙LIVE配信のアドレスまたはQRコードからログインすること。また、参加団体より選手保護者へ周知すること。
- (11) 競技結果の張り出しは行わない。日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル(超速)」(<http://sp.j-swim.jp/>)のQRコードを掲示板に掲載する。
- (12) 忘れ物は、(一社)静岡県水泳連盟事務局にて2週間保管するが、その後は廃棄する。
- (13) 競技終了後の片付けには、全競技役員の協力をお願いする。